

相模川神川橋下河川敷

「シナダレスズメガヤ除去作戦」企画書

桂川・相模川流域協議会 相模川湘南地域協議会

河川敷に繁茂する外来植物『シナダレスズメガヤ』は河原の景観を大きく変えてきました。以前の玉石に覆われた河原を取り戻すべく『シナダレスズメガヤ駆除キャンペーン』を企画する。

・・・記・・・

1. 日時：毎月第3日曜日 9：00～ *第2回 2013年1月20日（日）
・雨天中止（中止判断は前日19：00の雨天確率50%以上とする）
 2. 場所：相模川神川橋下河川敷 *添付地図の場所
 3. シナダレスズメガヤ対策について
 - (1) 外来植物シナダレスズメガヤは河原固有植物の生育適地を減少させるだけでなく、株元に土砂を堆積させ河床の上昇、それによる洪水時の水位上昇を引き起こす可能性もある。平成13年～17年の河川水辺の国勢調査では調査された123河川の内87%の107河川でシナダレスズメガヤが確認され、全国で問題になっている。
 - (2) 流域協議会では、相模川中流域～河口域の745ヶ所でGPS測位を行って、シナダレスズメガヤの分布域の調査を実施した。その結果、神沢、猿ヶ島、下依知、海老名運動公園前、寒川神川橋下流左岸の各河原にシナダレスズメガヤの大きな分布域があることが判った。
 - (3) 最も大きい群落は寒川神川橋下左岸にあり、一つの群落で3.5ha、寒川神川橋下河川敷ではほとんど在来の河原植物は見当たらなかった。
 - (4) 除去は在来の生物や、水質等への影響をできる限り小さくでき、効果も確実なのは、人間が直接確認しながら手で抜き取る方法が最適です。
 - (4) 神川橋下河川敷では、2011年5月にシナダレスズメガヤの除去活動と並行して在来の河原植物『カワラノギク』の再生活動を展開している。
 5. 参加者への展開
 - (1) 活動PRは、桂川・相模川流域協議会 H/Pで事前公開する。
 - (2) 服装は、『長袖、長ズボン、帽子、軍手』用具は『手鋏』とする。
・河原（玉石や砂利）での作業を考慮した服装をお願いします。
- *参考添付ファイル
①吉野川での対策論文 ②鬼怒川での除去マニュアル
代表：峯谷一好 担当：中門 吉松（携帯：090-4006-5871 当日のみ）

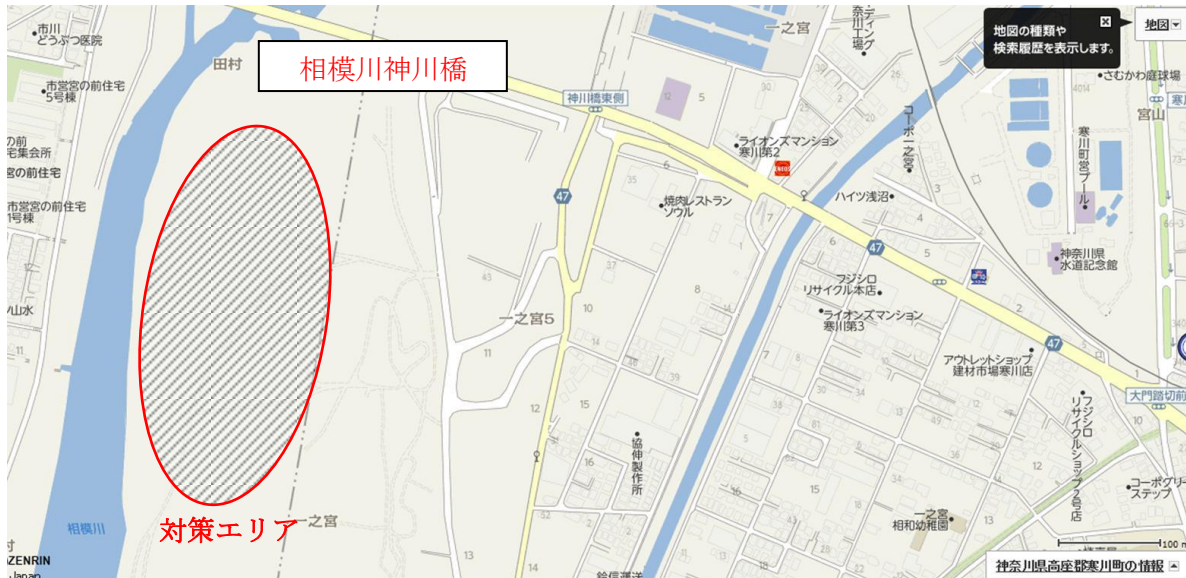
相模川神川橋下河川敷での『シナダレスズメガヤ駆除作戦』

活動日： 毎月第3日曜日 9:00～ 雨天中止

*雨天中止判断は前日 19:00 の降水確率 50%以上

第2回開催日：2013年1月20日(日) 9:00～

シナダレスズメガヤ対策(駆除)場所 【相模川神川橋下河川敷】



交通手段

- ① 車で参加の方；駐車場有り（台数に制限あり）
- ② 電車の方：JR相模線宮山駅 OR 寒川駅 徒歩20分

